



## 入間基地を見学して

### 大原専門学校

### 樋口来夢

七月二十三日、私は、航空自衛隊入間基地を見学しました。そこで最初に驚いた事は、女性隊員が活躍していたことです。女性活躍という国の施策で女性隊員数が増え、活躍の場が広がっていると聞いていましたが、実際に女性隊員と会って話す機会がなかったため、実感がありませんでした。しかし、入間基地では女性隊員が活躍しており、たくさん話を聞くうちに、女性隊員の存在感を強く感じました。実際に働いてみてどうなのか、育児休業を取っている隊員はいるのかなど、普段聞くことが出来ない生の声を聞くことが出来ました。また、一緒に飛行機の前で写真を撮って下さり、良い思い出になりました。

私は、管制官になりたいと考えているので、管制塔を見学したいと思っていましたが、残念ながら見学コースには含まれていませんでした。しかし、広報官の方が担当の方と話をし下さり管制塔を見学することが出来ました。管制塔で働いている隊員の方が熱心に説明して下さい、見学者が一人だけだったこともあり、いくつも質問することができ、貴重な体験となりました。

実際に管制塔に登り、機械の説明を受け、仕事内容を聞くことで航空管制の仕事に就きたいという気持ちが強まりました。

管制塔を見学した後に、特別にGCA(着陸誘導管制)の部屋を見せて頂きました。機械用の冷房が完備されていて、とても寒かったのを覚えていません。

GCAには女性隊員の方もいて、ここでも管制の仕事について話を聞くことが出来ました。今夏の見学はとも内容が濃く、航空自衛隊についての新しい発見ができ、とても楽しかったです。



左側が樋口さん

## 群馬県自衛隊合同企業説明会

自衛隊群馬地方協力本部(本部長・防衛事務官・井ノ口哲也)は八月九日、(一財)自衛隊援護協会東京支部主催のもと、前橋市内において「令和元年度群馬県自衛隊合同企業説明会」を開催した。

本説明会は、群馬県内に就職を希望する任期制退職予定隊員に対し、雇用の現状を把握させ再就職に向けた具体的な準備を実施させるとともに、予備自衛官等制度の普及に努めることを目的に開催した事業で、今回で十八回目となる。

今回の参加隊員は十六名で、群馬県内等の優良企業三十社に加え群馬県警及び埼玉県警が参加した。

説明会は前段・後段の二部構成で行われ、前段の面談では、隊員の希望業種・勤務地等を考慮した指定面談を二回、後段では隊員の自らの意志による自由面談を三回実施し、ほとんどの隊員が、五社の説明に耳を傾けた。

参加した隊員は、各企業ブースにおいて、業務内容や採用後の待遇等の説明を真剣に聞くとともに、積極的に質問する等熱心に取り組んでいた。

なお、予備自衛官及び即応予備自衛官についても、活動状況の動画放映やパネル展示を活用して、予備自衛官等制度の普及に努めるとともに、参加隊員と個別面談を実施し、予備自衛官等志願への意識付けを行った。

参加隊員からは「多くの企業から具体的な話を聞くことができ参考になりました。入社したい企業があったので、入社試験に向けてしっかりと準備したい」等の声が聞かれた。

